

親子で考えよう

わくわく家庭学習

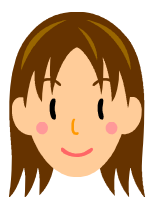
～我が子にやる気の種をまこう！～



見ていてくれたんだ
信じていてくれたんだ



今回は思うような結果はとれなかったようですが、
多分、次は大丈夫！努力が実ることを信じています。
(母より)



これは、私が中学2年のときお母さんがテスト個票に書いてくれた言葉です。私がかんばっているのを見ていてくれたんだと感じ、うれしくなったのを覚えています。私は、あのお母さんの言葉に励まされてがんばることができました。
今、高校で自分のやりたいことに力一杯取り組んでいます！

家庭学習を通して、9年間で学びを楽しみながら、自ら学ぶ力を少しずつ育んでいけるよう、学校と家庭とが協力し合っていきましょう。

藤枝市教育委員会

子どもをほめてあげましょう

家庭学習について、子どもたちに聞いてみました。
親からのうれしい言葉・うれしいこと。

うれしいと感じた言葉

- ① がんばったね。
- ② 楽しそうだね。
- ③ 目標をもって取り組んでいるね。
- ④ 難しい問題をがんばっているね。
- ⑤ ていねいに書いているね。

うれしいと思ったこと

- ① がんばりを認めてもらうこと。
- ② わからないところを教えてくれること。
- ③ 応援してくれること。
- ④ 一緒に考えてくれること。
- ⑤ 近くにいて安心させてくれること。

あなたの家では、どんなときにどんな言葉をかけて
いきますか？ 親子で話し合ってみましょう

①

②

③

家庭学習の進め方を考えてみましょう

家庭学習「3つのステップ」

- ステップ1 最初に、宿題(本読みや漢字、計算など)をしましょう。
ステップ2 次に、自主学習(授業の復習や日記、読書、振り返りカードなど)
をしましょう。
ステップ3 最後に、次の日の準備をしましょう。

家庭学習の時間の目安(学年×10分+10分)

小学校1, 2年生 …	20分～30分	小学校3, 4年生 …	40分～50分
小学校5, 6年生 …	60分～70分	中学生(学年+1時間) …	2時間～4時間



1, 2年生では…



- 1 宿題^{しゅくだい}をきちんとやろう。
家^{いえ}の人^{ひと}が近く^{ちか}にいてくれるとうれしいです。
- 2 家^{いえ}の人^{ひと}と一緒に^{いっしょ}次の日^{つぎ}の準備^ひをしよう。
2年生^{ねんせい}になったら、自分^{じぶん}で準備^びをし、
後^{あと}から家^{いえ}の人^{ひと}に確認^{かくにん}してもらおう。

★家庭^{かてい}でのワンポイント★

家庭学習の習慣づけをするスタート地点です。習慣づけの第一歩がうまく踏み出せるように、子どもが家庭学習を根気強く取り組めるよう、温かな言葉かけをして励ましてください。また、学習する机の上をきれいにするなど学習する環境にも気をかけてみてください。

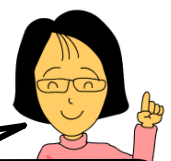
★学校^{がっこう}では★

学校で学習した内容を定着させるために、計算や漢字の書き取りや本読みなどを宿題として出します。

宿題は提出を確認して、家庭学習が継続するようにはたらきかけます。やり方がわからなくて困っている子には指導をしていくようにサポートしていきます。



時にはチャレンジしてみよう！



- 学校^{がっこう}の本^{ほん}やお家^{うち}にある本^{ほん}を読んでみよう。
お家^{うち}の人^{ひと}に読み聞かせ^{よみきかせ}をするのもいいね。
- 一日^{いちにち}の中で一番^{なか}心にのこったこと^{いちばんこころ}を絵日記^{えにっき}に書いてみよう。
- 生き物^{いきもの}を飼育^{しいうく}したり、植物^{しょくぶつ}を育て^{そだ}たりすることも楽しいね。
育つ様子^{そだ}をノートなどに記録^{きろく}していくのも楽しいよ。



3, 4年生では…



- 1 宿題や見直しを自分でやり、間違ったところを自分で直せるようにしましょう。
- 2 家の人に宿題を見せてサインをもらおう。
- 3 自分で次の日の準備をして、確かめよう。

★家庭でのワンポイント★

家庭学習にも慣れてきて、学習への興味関心も高まります。反面、個人差が出やすい時期でもあります。

自分でやる経験をさせていくことが大切です。自分から興味をもって取り組むことが学ぶことへの意欲につながります。

学習する習慣が継続していくように「よくやったね」などの褒め言葉をかけていくと、やる気がさらに高まります。

★学校では★

漢字が難しくなったり、語彙数や教科特有の用語が増えたりします。意味のわからない言葉を探す方法を教えたり、漢字や用語の確かめテストをしたりします。算数では九九など低学年でやったものが基礎になって発展していくものが多いので、前学年の復習もしていきます。

このように基礎基本を定着させるための宿題の量が増えてきます。

また、理科や社会が加わり、観察や見学のまとめの宿題も出していきます。



チャレンジしよう！



- ・わからない言葉を辞書を使って調べたら付せんをはっていこう。付せんが増えていったぶん家庭学習をした記録にもなるよね。
- ・家の周りの生き物や植物のオリジナル図鑑を作ってみよう。
- ・友達やお家の人と地域を探検して、おうちマップ（地図）を作ってみよう。

5, 6年生では…

- 1 自分で学習計画を立てて勉強しよう。
- 2 宿題にプラスして、自主的な学習に取り組んでみよう。特に授業の復習は大切！
- 3 授業をふり返り、わかったことやもう一度復習したいことをノートにまとめよう。

★家庭でのワンポイント★

宿題だけでなく自主的な学習にも取り組ませたい時期です。それには子どもに目標を持たせることが大切です。例えば、お家の方が、その子の良い点や得意な分野を見つけて気づかせることも方法です。「宿題をやりなさい」と言うのではなく、子どもの良さや可能性をひきだすための語りかけが、将来の夢や目標を持たせるのに有効です。

宿題の見届けをしながら、子どもの特性や長所を見つけてください。

★学校では★

基礎基本の力をつける宿題を継続して行いますが、それに加え、ノートやカードを使って授業のふり返りを書かせていきます。その時間で、何を学び、何がわかったのかを子ども自身がふり返るものです。こうすることで自分の得意なところや自分が苦手としているところが客観的に見えてきます。

ふり返りの仕方やノートのまとめ方を教えることと合わせて、自主的な学びがレベルアップするようなアドバイスをしていきます。

 始めてみよう！ 

- ・新聞記事の要約、単元のまとめのノート作り、テストで間違えた問題をやり直すことなどにも挑戦しよう。
- ・自分の興味のあることを図書館やインターネットで調べてみよう。実際に行ってみてきてもいいね。



- 1 時間を上手に使い、自分の生活に合った学習計画を立てることができるようにしよう。
- 2 宿題と授業の振り返りに加え、自分なりに工夫したノートを作るようにしよう。
- 3 学力テストのふり返りを何度も行い、苦手な問題をなくしていこう。

★家庭でのワンポイント★

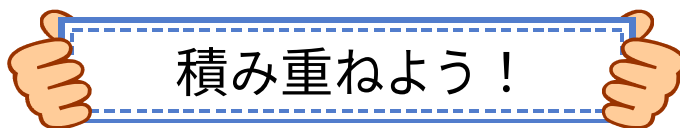
長期的な目標を持って計画的かつ効率的に学習していくことが大切になってきます。自分の弱点を知り、それを克服していく学びの方法を身につけていけるといいですね。

日頃の会話の中に励ましの言葉をそっと忍ばせて、見守られている安心感を伝えていきましょう。

★学校では★

授業の復習を中心とした基礎学力定着のための宿題を行います。自分なりに工夫した自主学習ノートや新聞の要約や感想などの提出も呼びかけていきます。

また、部活動と両立させた時間の使い方や学習計画の立て方、各教科の勉強方法などもアドバイスしていきます。

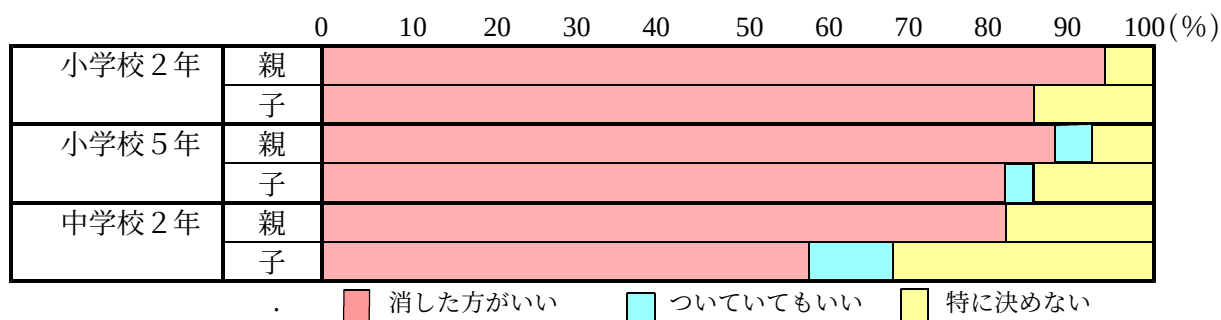


- ・新聞記事の要約と感想をノートにまとめよう。また、予習や復習の時間も計画的に増やしていこう。
- ・特に、苦手教科は毎日復習しよう。自信がついてくるよ。
- ・教科ごと基礎的内容をノートに書き出してまとめてみよう。テストの点数もアップしていくはずだよ。
- ・短い時間でも毎日家庭で読書する習慣をつけよう。

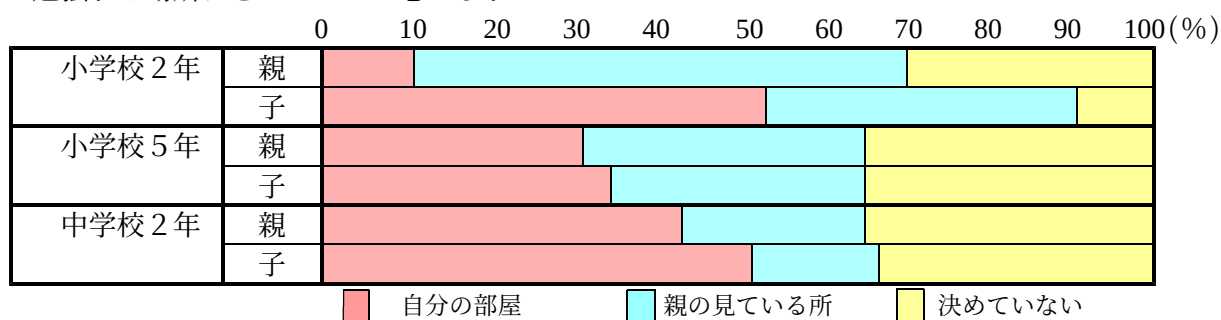
親子で考えてみましょう

(1) 家庭学習について親子に聞いてみました。

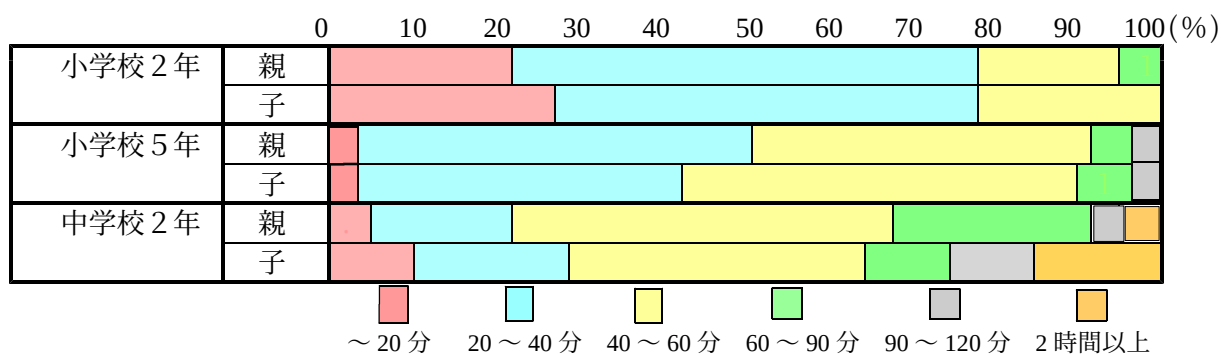
① テレビはどうしたらいいですか？



② 勉強する場所はどこがいいと思いますか？



③ 勉強している時間は？



我が家は、これからどうするか話し合ってみましょう。

① テレビは

② 勉強する場所は

③ 勉強する時間は

(2) どんな自主学習をやっていますか？

★親子に聞いてみました★

小学校2年生

- ★瀬戸川にどんな生き物がいるかお父さんと調べました。飼い方も調べて育てました。
- ★お母さんに算数の問題を出してもらって解いています。
- ★ことわざカルタを家族でやっています。自然にことわざを覚えました。
- ★家の人と一緒にお風呂に入ったときに、九九の暗唱をしました。九九を歌いながら覚えると楽しいです。
- ★計算カードは、タイムを計ってやってみました。時々お母さんと勝負してみました。
- ★家の人と選んだ漢字ドリルをやっています。自分の気に入ったドリルなので自分のペースでできます。

小学校5年生

- ★自分が気に入った新聞記事を切り取ってノートに貼っています。記事を読んだら「いつ・どこで・だれが・何を・なぜ・どのように」の項目についてまとめています。
- ★地図帳を使って都道府県別に面積の広さや野菜の生産高のランキングを作りました。各都道府県の特産物や伝統工芸なども調べられるので、おもしろいです。
- ★テストで間違えたところや、その日の授業で分からなかった問題を、もう一度ノートにやっています。
- ★都道府県や漢字の書き順の問題を、親子で出し合っています。
- ★計算ドリルは、宿題以外のページにもチャレンジしています。
- ★いろんな問題を単語カードに書き、毎日一通りやるようにしています。

中学2年生

- ★テレビで紹介された博物館や観光地に親子で訪れ、教科書上のことや歴史上のことを一緒に学び、身近に感じることで、興味をもつ機会をもちます。
- ★食事を作りながら、親子で問題を出しながら暗記の学習をします。
- ★新聞やテレビのニュースから、時事問題について親子で会話をします。
- ★学校の問題集やテスト勉強をします。
- ★お父さんが出した問題を兄弟で一緒に解いています。
- ★分からない言葉が出てきたときは、家族で誰かが辞書で調べ家族で共通の話題にします。

どんな自主学習が自分に合っているかな？

家の人と相談してみましょう。

(3) 時間を上手に使って、学力アップにつなげましょう！

学習をいつするのか、「学校のある日」「土・日」「習い事のある日」などに分けて、1日の生活スケジュールの中で考えてみましょう。

例：(学校のある日)

	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	(時)
学習													読 書		学 習					
生活		起 床	食 事	登 校									帰 宅	テ レ ビ	食 事		入 浴	就 寝		

家の人と一緒に計画を立ててみましょう！

()

	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	(時)
学習																				
生活																				

()

	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	(時)
学習																				
生活																				

()

	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	(時)
学習																				
生活																				

家庭学習Q & A

低 学 年

- Q いくら注意しても宿題に取りかかりません。ついつい叱ってしまいますが、どのような声かけをしていったらいいのでしょうか？
- A 温かな言葉のシャワーをいっぱいかけましょう。
学習を始める時間を決めてみましょう。時間通りに始められたときや自分から始めたときは、たくさん褒めてあげてください。また、最初は5分間でも家の人が見ていてあげると、子どもも喜んで取り組みます。「きれいに書けてすごいね」などと、温かな言葉のシャワーをいっぱいかけてあげてください。
- Q 文章や問題の読取が苦手なようなのですが、何か家庭でできることはありますか？
- A 親子で音読に取り組んだらどうでしょうか。
音読は目と声と耳を使うため、脳によい刺激がたくさん入ります。黙って読むよりも読み取る力を高める効果が期待できます。「すらすらと・感情をこめて」をめあてに音読したらどうでしょう。
- Q 子どもが勉強をがんばったら、ごほうびなどをあげてもいいのでしょうか？ あげるとしたら、どのようなものがいいのでしょうか？
- A 子どもたちを褒めてあげることが最大のごほうびになります。
「終わったらテレビを見よう。」「ここまでやったら一緒におやつを食べよう。」などのように、うれしいめあてを持たせてみるのもひとつですし、一定期間がんばれたら親子で一緒に楽しめるゲームなどをプレゼントするのもどうでしょう。

中 学 年

- Q 字を雑に書いて困ります。どのようにアドバイスすればよいのでしょうか？
- A 人にあげる文を書いてみたらどうでしょう。
手紙や誕生カードなど、相手を意識した文を書いてみたらどうでしょう。また、字を丁寧に書くためにおすすめなのが「なぞり書き」です。薄い色の蛍光ペンでお手本を書いてやり、その上をはみ出さないようになぞらせていくと、はねやはらいなどの細かい部分を意識できるようになります。
- Q 家庭学習に集中して取り組めません。少しでも子どもをやる気にさせたいのですが…。
- A スモールステップで取り組んでみましょう。
「〇ページまでやったら休憩しよう」「△時までやったら遊ぼうでもいいよ」などと、子どもの学習に区切りをつけるのは集中力を高める一つの方法です。また、数分でいいので親も一緒に読書などに取り組むと、子どもの集中力が増していきます。

高 学 年

Q 算数の計算のしかたが自分の習ったやり方と違っているのですが、どうしたらよいでしょうか？

A 子どもの話をしっかり聞いてあげましょう。

家の人が学習にかかわってくれることが、お子さんにとって大きな喜びとなり、次への意欲へつながっていきます。また、その旨を担任に知らせていただけるとありがたいです。

Q 中学校へつなげるため、家庭学習において、どのようなことを身につけておくといよいのでしょうか？

A 家庭学習を自分でやる習慣づけをしましょう。

「まちがえたところを自分で復習する」「分からないところは、本や辞書を使って調べる」また、「先生や家の人、友達などに聞く」などの習慣づくりは、中学や高校へ行っても充実した時間を過ごすことにつながります。

Q 高学年でも、親が家庭学習の見届けをすることは必要なのでしょうか？

A 子どもに応じた見届けをしましょう。

アンケートの結果にもあったように、見届けはどの学年の子どもでも必要だと考えている親御さんが多くいます。その子に応じた声かけをし、親が見守っている姿勢を伝えることで、子どもが安心して学習に取り組めます。

中 学 生

Q 子どもの部活動が忙しくなり、時間のすれ違いが増えてしまいました。
ゆっくり家庭学習をみてあげることができないのですが、どうしたらよいでしょうか？

A 短い時間でも、毎日声をかけ見守り続けましょう。

親と同じ空間で勉強するようにしてはどうでしょうか。親が愛情をもって温かく接して励ますことが、子どものやる気につながります。

Q 苦手な教科は、子ども自身も何がわからないのかがわからなくて困っているようです。
親としてどのように対処したらよいのでしょうか？

A どこの部分からつまづき始めたのかを知ることが大切です。

過去の教科書やテストなどを一緒に丁寧にふり返ってあげてください。答えを書き込むタイプの問題から始めると、自信がついてきます。理解できるまで、同じような問題を何度も解いてみるのも効果的です。

保護者の皆様へ

今、家庭学習の大切さが改めて注目されています。家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身につけるために、また自ら学ぶ習慣を身につけるために大切です。そこで、有識者・保護者・学校の代表者による「家庭学習充実委員会」を立ち上げ、活用しやすいリーフレットを作成しました。

学習の取り組み方について家族で話し合い、家庭における学習習慣の定着を図るとともに、子どもの「がんばり」や「伸び」を保護者が認め・励まし・褒めることを通して、意欲を高め学力の向上につなげてほしいと考えています。



藤枝市教育委員会では、「家庭学習充実委員会」より「全校体制による家庭学習の推進」や「家庭学習に関する情報の常時発信」「地域の方々への呼びかけ」等の提言をいただきました。今後、学校と連携しながら、積極的に取り組んでいきたいと考えています。